

きらきら

2025年9月26日（金）第7号

園長 中谷 浩一

本日をもって1学期が終了しました。園評価の保護者アンケート、短い期間でしたがご協力ありがとうございました。1学期は、春と秋の遠足、運動会、夕涼み会など楽しい行事がありました。

園児たちは、このような経験を積み重ねて、「楽しい、嬉しい、安心」といったポジティブな感情が育っているように感じています。

感情コントロールの力はどのように育つのか。

結論から言うと「共感」による保護、身体・安心・安全が保障されている状態、言い換えると愛着の状態が脳を育てると言われています。

子どもの脳は“工事中”，大人の脳は完成したもの、幼児の脳は人との関わり（コミュニケーション）やいろいろな経験を積み重ねることで情動脳（感情や身体）と評価脳（認知）で情報のやりとりが行われ、回路がつくられていきます。恐怖や不安、痛みを伝える情動脳と安全だという情報を送る評価脳とのやりとりが行われることで子どもの脳は少しずつ発達していきます。

さて、9月18日は本園でオホーツク管内認定こども園教育保育研究会主催の研究大会が開催されました。

当日は、利用者の皆様にはご不便をおかけしました。昨年の10月に【今後の幼児教育のあり方に対する報告】が国からありました。その中で、幼児教育の基本として「環境を通して行われる教育」というものが打ち出されました。その中で、保育教諭がどのような点に配慮して指導を行っていくべきなのかが記されています。

保育教諭はその専門性を発揮し、幼児が思わず遊びたくなるような環境を意図的に構成し、幼児が**主体的**にその環境に関わる遊びや生活を展開し、幼児の発達を促す「環境を通して行う教育」を基本とする。

今年度の研修テーマは『思いや考えを表現し、自ら遊ぶ姿を求めて』にしました。前期の保護者アンケートではNo.1「自分の思いや気持ちを言葉や態度で伝えることができる」の回答が唯一50%台でした。昨年度の調査でもこの項目は50%台で推移しています。年度当初から園児の「やってみたい」を大切にする指導を行い、園児を多面的に理解するために『10の姿』をドキュメンテーションという手立てを通して、こども理解に取り組んできました。1年の半分が経過し、保護者アンケートから1つの宿題を与えられました。今年度の取組として「園児が主体的に遊びを展開していくための保育教諭の援助方法と環境構成について工夫をする」ことを掲げています。

5月は活動内容を「素材に触れて遊ぶ」「自分なりに考えて作る」として空き箱製作に取り組み、6月は「新聞紙の性質を知り、ごっこ遊びに取り入れる」として新聞紙お風呂やファッションショーで異年齢で関わりました。先生方から「作って終わりの子もいた」「素材の特性を知り楽しんでいた」「次の遊びにつながりそう」など反省ができました。

***保護者アンケートと園評価の結果につきましては、次号の『園だより』8号でお知らせします。**



10月の主な行事予定



日	曜	行事予定	お知らせ・お願い
1	水	開園記念日	1号認定のお子さんはお休みになります。
2	木	2学期始業式	通園帽子（黄色）から冬用帽子（自由）に移行します。ご家庭で判断ください。
3	金	JA食育活動（芋ほり）	今年最後の収穫。予備日は10月6日です。準備のほどよろしくお願いします。
6	月	運営会議	
7	火	就学時健診（年長）	保護者同伴です。検診は研修会館、検査は女満別小学校が会場になります。
8	水	ALT（年長）	
9	木	異年齢交流 園内委員会	1年の半分が終わり、各関係機関の方々と子どもの発達について話します。
10	金	空港見学（年長）	社会生活との関わりをテーマに女満別空港の施設見学を行います。
13	月	スポーツの日	
14	火	個人懇談（希望者のみ） 職員会議	
15	水	お弁当の日 避難訓練 給食担当者会議	月1回のお弁当の日です。 献立や園児の食に対する嗜好を話し合います。 
17	金	芸術鑑賞	今年は東藻琴こども園のお友だちと一緒に鑑賞します。
21	火	内科健診	
22	水	歯科健診	
23	木	新入園児見学会 子育て支援園開放	新3歳児が対象になります。 ミニ運動会をおこないます。
29	水	研修日	先生方のお勉強の時間です。
31	金	お誕生会	10月生まれのお友だちのお誕生会です。みなでお祝いします。

1学期に行われた環境構成の取組です。各月ごとに職員がペアで活動のねらいやその内容を提示して取り組みます。



新聞紙を使ったファッションショーや空き箱を使った製作、夏は色水づくり、折り紙、花火などなど。



今年も大隅さんから玉ねぎ(80 kg)の寄附をいただきました。食材として利活用します。ありがとうございます。